

I. 緩和ケアチーム依頼件数

①疼痛緩和、②疼痛以外の症状③精神症状、④家族ケア、⑤その他
平成25年度 8月依頼件数：3件

No	依頼日～終了日	訪門	診療科	患者背景	診断名と依頼内容	転帰
184	8月20日～	2	7A泌尿器	60代男性	膀胱がん、①、	退院
185	8月23日～	2	7A泌尿器	80代男性	前立腺がん、①、③、④、	介入終了
186	8月27日～	1	7A泌尿器	70代男性	前立腺がん、①、②、	介入終了

平成25年度 9月依頼件数：2件

No	依頼日～終了日	訪門	診療科	患者背景	診断名と依頼内容	転帰
187	9月17日～10月10日	3	7A消化器	80代女性	膵臓がん、①、⑤、	介入終了
188	9月25日～10月3日	2	6A循環器	80代女性	原発不明、転移性肺がん、①、④、⑤	介入終了

II. 緩和ケアに関する相談記録(がん相談支援センター)

平成25年度 8月依頼件数：8件 9月依頼件数：7件

～緩和医療委員会 サポートスタッフ新たな展開～

先日、厚生労働省の調査にて、サポートスタッフへのいくつかの提案がありました。そこで今回は、皆様に、以下にご報告します。

- ①がんを主病名とする患者をサポートスタッフがアセスメントするツールの開発。
目的：1.癌患者の症状把握を適切に行い緩和ケアチームへの情報提供を行う。
2.サポートスタッフのアセスメント能力の向上
- ②せん妄患者の拾い上げ
目的：がん患者のせん妄を軽度の状態で発見し予後を良好のものとする。
- ③①②の情報を共有できるようにサポートスタッフ会議で検討を行う。
- ④サポートスタッフにコメンターを設置（サポートスタッフの活動が軌道にのるまで）
目的：サポートスタッフが早期に機能すること
- ⑤チームの回診と回診の間を埋めるための機能の構築



今後、これを踏まえ、サポートスタッフでは新たな動きがありそうです。
また、進展があれば報告したいと思います。



今後の研修会のお知らせ 緩和ケア市民公開講座

日時：平成25年12月7日（土）
受付 13:00～
開始 13:00～16:00 予定
会場：プラザ都
演題：「あたらしく生きていくために」
～ホスピスでの出会いを通して～
演者 清水千世さん
「伝える・伝わるが出来るように」
～在宅ケアを通して～
演者 高橋美保さん

皆さん、是非参加して下さい！！！！

